

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	リバーエレクトック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551)22-1211(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551)22-1211(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期連結 累計期間	第67期 第1四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	1,322,827	1,432,784	5,813,028
経常利益(千円)	10,303	42,715	110,941
四半期(当期)純利益(千円)	3,689	37,501	90,738
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	7,277	46,417	12,561
純資産額(千円)	3,180,958	3,168,394	3,144,122
総資産額(千円)	7,328,190	7,651,734	7,435,024
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	0.50	5.09	12.31
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	42.7	41.4	42.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	158,076	3,188	451,477
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	111,508	144,016	640,438
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	43,491	71,232	97,483
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	844,777	1,127,096	1,043,543

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第66期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
5. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により落ち込んだ経済活動からの持ち直しの動きが見られてきてはいるものの、電力供給問題や消費者心理の低下、また、欧米の金融システム不安の再燃や新興国の金融引き締め政策による経済の停滞懸念など先行きが見通しにくい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループでは海外販売網の強化や全社的な原価低減、固定費削減に努め、第3次中期経営計画で掲げる成長ドライバーの強化に向けた施策に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,432,784千円（前年同期比8.3%増）となりました。利益面におきましては販売価格の下落や円高による為替の影響があったものの、音叉型水晶振動子の販売が好調であったことから営業利益16,760千円（前年同期比21.6%増）、経常利益42,715千円（前年同期比314.6%増）、四半期純利益37,501千円（前年同期比916.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （水晶製品事業）

	前第1四半期連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	前年同期比
売上高	1,265,895千円	1,398,768千円	110.5%
セグメント（経常）利益	3,252千円	44,390千円	1,364.6%

水晶製品の売上高は、1,398,768千円（前年同期比10.5%増）となりました。車載関連、パソコン周辺機器関連の売上は低調でありましたが、スマートフォンを主とした携帯電話向けが好調に推移し、増収となりました。セグメント利益は、販売価格の下落や円高の影響がありましたが、好調な販売により44,390千円（前年同期比1,264.6%増）となり、前年を大きく上回りました。

#### （その他の電子部品事業）

	前第1四半期連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	前年同期比
売上高	56,931千円	34,015千円	59.7%
セグメント（経常）利益	7,050千円	1,675千円	-

その他の電子部品の売上高は、34,015千円（前年同期比40.3%減）となりました。抵抗器及びインダクタの事業縮小の影響により、減収となりました。セグメント利益は、減収の影響が大きく、1,675千円の損失（前年同期は7,050千円のセグメント利益）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ83,553千円増加し、1,127,096千円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は3,188千円（前年同期は158,076千円の使用）となりました。これは主に売上債権の増加179,764千円等があったものの税金等調整前四半期純利益42,827千円、減価償却費122,590千円、賞与引当金の増加47,170千円等があったことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は144,016千円（前年同期は111,508千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出55,343千円等があったものの、定期預金の払戻による収入200,000千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は71,232千円（前年同期は43,491千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加（純額）120,672千円があったものの、長期借入金の返済による支出169,097千円等によるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、42,137千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	7,492,652	-	1,070,520	-	957,810

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 121,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,370,200	73,702	-
単元未満株式	普通株式 1,452	-	-
発行済株式総数	7,492,652	-	-
総株主の議決権	-	73,702	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
リバーエレテック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号	121,000	-	121,000	1.62
計	-	121,000	-	121,000	1.62

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,490,241	1,378,979
受取手形及び売掛金	1,430,261	1,617,629
商品及び製品	390,902	417,334
仕掛品	241,105	284,423
原材料及び貯蔵品	596,913	650,533
繰延税金資産	14	16
その他	154,299	121,049
貸倒引当金	2,703	2,533
<b>流動資産合計</b>	<b>4,301,035</b>	<b>4,467,433</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	459,488	460,066
機械装置及び運搬具(純額)	1,602,274	1,654,542
工具、器具及び備品(純額)	88,034	82,922
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	5,011	12,060
建設仮勘定	254,881	270,335
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,825,120</b>	<b>2,895,356</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	1,131	735
その他	16,902	16,427
<b>無形固定資産合計</b>	<b>18,033</b>	<b>17,162</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	146,907	123,627
破産更生債権等	68,250	70,500
その他	143,927	148,154
貸倒引当金	68,250	70,500
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>290,834</b>	<b>271,782</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>3,133,989</b>	<b>3,184,301</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,435,024</b>	<b>7,651,734</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	813,617	840,919
短期借入金	846,098	969,822
1年内返済予定の長期借入金	571,689	551,689
未払法人税等	17,364	11,246
賞与引当金	63,883	111,054
設備関係支払手形	138,275	194,118
その他	290,570	390,376
流動負債合計	2,741,498	3,069,225
固定負債		
長期借入金	1,241,923	1,092,826
繰延税金負債	1,096	4,423
退職給付引当金	182,288	184,057
役員退職慰労引当金	119,100	122,030
環境対策引当金	1,428	1,428
その他	3,566	9,348
固定負債合計	1,549,403	1,414,114
負債合計	4,290,902	4,483,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,515,213	1,530,599
自己株式	17,766	17,766
株主資本合計	3,525,776	3,541,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,972	59,875
為替換算調整勘定	346,712	312,892
その他の包括利益累計額合計	381,685	372,768
少数株主持分	30	-
純資産合計	3,144,122	3,168,394
負債純資産合計	7,435,024	7,651,734

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	1,322,827	1,432,784
売上原価	1,022,609	1,081,773
売上総利益	300,217	351,010
販売費及び一般管理費	286,429	334,249
営業利益	13,788	16,760
営業外収益		
受取利息	428	176
受取配当金	1,878	1,598
助成金収入	3,200	7,874
為替差益	-	2,397
作業くず売却益	6,396	22,132
その他	1,735	3,052
営業外収益合計	13,639	37,231
営業外費用		
支払利息	9,536	8,616
為替差損	5,187	-
その他	2,400	2,661
営業外費用合計	17,123	11,277
経常利益	10,303	42,715
特別利益		
固定資産売却益	-	174
特別利益合計	-	174
特別損失		
固定資産除却損	7	61
環境対策引当金繰入額	1,428	-
特別損失合計	1,436	61
税金等調整前四半期純利益	8,867	42,827
法人税、住民税及び事業税	3,987	2,031
法人税等調整額	551	3,295
法人税等合計	4,539	5,326
少数株主損益調整前四半期純利益	4,328	37,501
少数株主利益	638	-
四半期純利益	3,689	37,501

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,328	37,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,557	24,902
為替換算調整勘定	35,951	33,819
その他の包括利益合計	11,606	8,916
四半期包括利益	7,277	46,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,277	46,417
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,867	42,827
減価償却費	97,918	122,590
貸倒引当金の増減額(は減少)	268	206
賞与引当金の増減額(は減少)	1,169	47,170
退職給付引当金の増減額(は減少)	584	1,768
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,930	2,930
環境対策引当金の増減額(は減少)	1,428	-
受取利息及び受取配当金	2,306	1,774
支払利息	9,443	8,616
為替差損益(は益)	29	13
有形固定資産売却損益(は益)	-	174
有形固定資産除却損	7	61
売上債権の増減額(は増加)	112,900	179,764
たな卸資産の増減額(は増加)	9,954	111,650
仕入債務の増減額(は減少)	171,455	20,516
未収入金の増減額(は増加)	26,134	18,879
未払金の増減額(は減少)	399	2,883
その他	6,654	79,460
小計	142,748	16,388
利息及び配当金の受取額	2,693	1,896
利息の支払額	9,313	7,735
法人税等の支払額	8,708	7,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,076	3,188
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	200,000	-
定期預金の払戻による収入	226,394	200,000
有形固定資産の取得による支出	135,913	55,343
有形固定資産の売却による収入	-	500
投資有価証券の取得による支出	1,634	1,623
子会社株式の取得による支出	-	21
その他	354	505
投資活動によるキャッシュ・フロー	111,508	144,016
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	131,070	120,672
長期借入金の返済による支出	174,138	169,097
配当金の支払額	-	22,114
リース債務の返済による支出	423	693
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,491	71,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,436	7,581
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	304,640	83,553
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,417	1,043,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	844,777	1,127,096

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)												
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在)												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,310,915 千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">466,138</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">844,777</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,310,915 千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	466,138	現金及び現金同等物	844,777	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,378,979 千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">251,882</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,127,096</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,378,979 千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	251,882	現金及び現金同等物	1,127,096
現金及び預金勘定	1,310,915 千円												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	466,138												
現金及び現金同等物	844,777												
現金及び預金勘定	1,378,979 千円												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	251,882												
現金及び現金同等物	1,127,096												

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	22,114千円	3円	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,265,895	56,931	1,322,827	1,322,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	1,265,895	56,931	1,322,827	1,322,827
セグメント利益	3,252	7,050	10,303	10,303

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	10,303
四半期連結損益計算書の経常利益	10,303

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,398,768	34,015	1,432,784	1,432,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	1,398,768	34,015	1,432,784	1,432,784
セグメント利益	44,390	1,675	42,715	42,715

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	42,715
四半期連結損益計算書の経常利益	42,715

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	0円50銭	5円9銭
(算定上の基礎)		

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益金額(千円)	3,689	37,501
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	3,689	37,501
普通株式の期中平均株式数(株)	7,371,594	7,371,572

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成23年7月13日開催の取締役会におきまして、次のとおり100%出資の中国子会社西安大河晶振科技有限公司に関する設備投資計画を決議しました。

(1) 目的

海外拡販を目的とした現地生産能力の増強とコスト競争力の強化

国内工場との生産分担による生産体制の最適配分と危機管理対応力の強化

(2) 設備投資の内容

水晶製品生産設備約4億円の新設

(3) 設備の導入時期

平成23年12月完成予定

(4) 当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

本件投資計画が、当社平成24年3月期における業績予想に与える影響はございません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月11日

リバーエレクトック株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩淵 道男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 諏訪部 修 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 伸司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレクトック株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレクトック株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。